



適応普及啓発ヒント集

環境省近畿地方環境事務所

目 次

I はじめに

- 1. 適応普及啓発ヒント集の使い方 2
- 2. 適応普及啓発ヒント集の構成 3

II 適応の伝え方～「適応」の説明

- 1. 「緩和」と「適応」どちらの努力も続けることが大切 6
- 2. 伝え方の工夫 8

III 気候変動による影響に気づく～身近に起こっている影響

- 1. 生活シーンでの影響 10
- 2. 地域ならではの影響 11

IV 気候変動に備える～今やろう、影響への備え

- 1. 個人でできる適応の例 14
- 2. 学校や職場でできる適応の例 14

V 適応策の実践に向けて地域でやってみよう

- 1. ロゴマーク 17
- 2. 体験型ツール「SHIFT＋適応カード」 21
 - (1)「SHIFT＋適応カード」とは？ 21
 - (2)使い方・遊び方の例 22
- 3. 地域での普及啓発プログラム例 28

参考資料 適応に関してより理解できる情報

- ①気候変動による影響と適応の知識 38
- ②さまざまな気象情報 39
- ③地域等における適応策事例の情報 40
- ④パンフレット 41

I

はじめに

1. 適応普及啓発ヒント集の使い方

近畿地域では、平成26年度から「地域の適応策に地方公共団体と共に地域の団体や住民が主体的に取り組む」ことを目的とした様々な取組をしてきました。

それらの成果を活かしつつ、さらに気候変動影響への適応を推進するため、平成29年度から開始した「地域適応コンソーシアム近畿地域事業」において、地域での活用を想定した適応の理解や取組を進めるための普及啓発ツール（以下、ツール）について、検討を行いました。

このヒント集は、近畿地域の地球温暖化防止活動推進センターや推進員の方々、自治体などによる検討によって、下記の方針のもと作成したものです。

なお、作成にあたっては、アドバイザーとして舟越一郎さん（京都市立芸術大学）と川中大輔さん（龍谷大学）に助言をいただきました。

① 地域独自にカスタマイズしたツールをつくることを想定

近畿地域には多様な地域特性、ライフスタイル、そしてさまざまな気候変動による影響があり、その適応策としての取組が各地域で始まっています。今後さらに、気候変動影響への適応を推進していくためには、様々な場面での普及啓発が必要となりますが、そのためのツールについても、そういった各地域の状況や活用の場面に応じてカスタマイズし、地域性や独自性を活かした取組に活用していくことが求められています。

② 近畿地域で共通して伝えたいテキストやコンテンツを掲載

一方で、近畿地域で共通して伝えられる情報や内容、伝え方があれば、ツールのカスタマイズがしやすくなり、またオール近畿での取組も推進していくことができます。そこで、各地域で活動する方々が状況や場面に応じて情報を選択して使い分けることを目的として、各府県共通の最低限のテキストやコンテンツを掲載した適応普及啓発ヒント集を作りました。

③ これまでの近畿地域での取組を踏まえて作成

近畿地方環境事務所が平成27年度から3年間かけて近畿の各地域で実施した「市民参加による気候変動の地域での影響事例調ベワークショップ」の成果や、「地域で気候変動への適応を推進するための手引き（平成29年3月近畿地方環境事務所）」、近畿2府4県の自治体や地球温暖化防止活動推進センターでの適応策の推進に関する取組を踏まえて作成しています。

2. 適応普及啓発ヒント集の構成

この適応普及啓発ヒント集は、5つの構成で成り立っています。

「Ⅱ」では、適応についての説明や伝え方のポイント、「Ⅲ」と「Ⅳ」では気候変動による影響や適応策の具体例、「Ⅴ」では近畿地域で共通で利用できるロゴと、今すぐできる具体的なプログラム、さらにその際に活用できる各種ツール、「参考資料」では気候変動や適応に関する知識・情報について掲載しています。

このヒント集を参考にいただきながら、それぞれの地域や状況・場面に応じて必要な情報を選択して地域ならではのツールを作成していただければと思います。

オール近畿で、気候変動による影響に備え、持続可能な未来のために今必要なことを始めましょう。

① 適応の推進において想定される普及啓発の場面・ツール等

このヒント集では適応の推進において想定される普及啓発の場面・ツールを下表の通り想定しました。

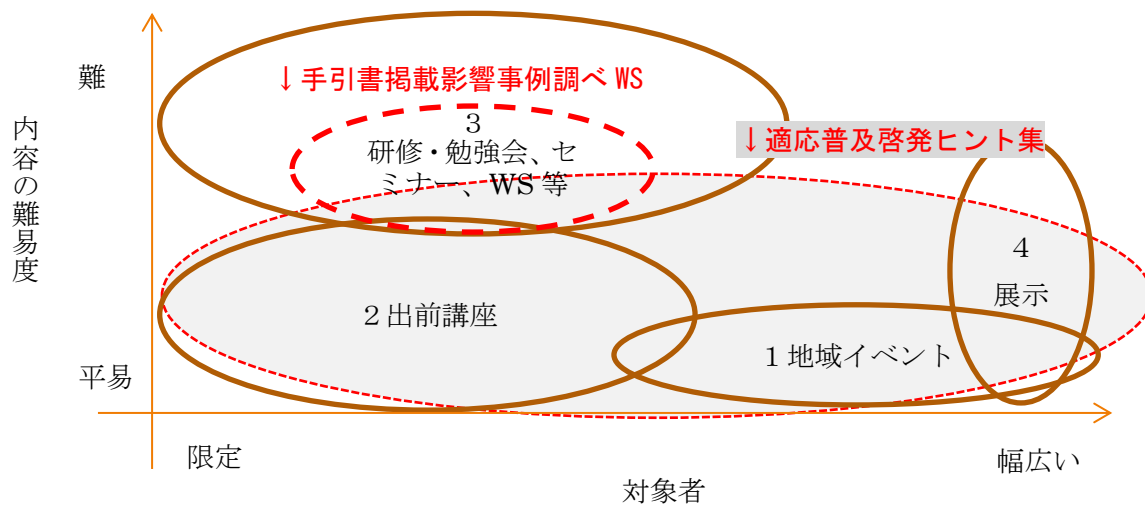
＜気候変動影響への適応の推進において想定される普及啓発の場面・ツール等について＞

	普及啓発の場面	対象	テーマ	アプローチ 可能な時間	活用ツール例
1	地域イベント (フェア、祭りなど)	一般	地域振興 環境	5～10 分程度 ブース出展	プログラム 体験ツール パネル・ポスター リーフレット
2	出前講座	自治会 地域団体 小学校等	地球温暖化・ 気候変動 ※但し、学年によ っては地域学習 なども考えられる	45～120 分程度 45 分(授業)	プログラム 説明用パワーポイント 体験ツール リーフレット (ワークシート)
3	研修・勉強会 セミナー、ワーク ショップ等	自治体職員 事業者 推進員 一般	気 候 変 動 ・ 適 応 まちづくり(防 災、地域の産 業、健康等)	半日～ 1 日程度 全体で半日程度 のうち 60 分程度	プログラム 説明用パワーポイント 体験ツール
4	地域の環境学習 施設等における 展示	一般	気 候 変 動 ・ 適 応策	5 分程度	パネル・ポスター リーフレット

※ここでは、センターまたは自治体が主催し、センターや推進員など地域のリーダーが関わって普及啓発活動を行う場面を想定する。

② 対象者及び内容の難易度と活用場面の関係

対象者による内容の難易度と活用場面の関係を下図に整理しました。



対象者及び内容の難易度と活用場面の関係イメージ図

Ⅱ

適応の伝え方

～「適応」の説明～

1. 「緩和」と「適応」どちらの努力も続けることが大切

気候変動の対策としては、「緩和」と「適応」、2つの取組が必要となります。「緩和」は、温室効果ガスの排出を抑制する対策で、これまで広く知られ様々な努力がされてきました。一方、「適応」についても、すでに起こりつつある気候変動の影響への対策として、地域一体となった取組の推進が求められており、今後さらなる普及啓発が必要となっています。

「緩和」と「適応」、どちらの努力も続けることが大切だということを伝えていく必要があります。

【「適応」の用語説明】

- ・緩和を実施しても気候変動の影響が避けられない場合、その影響に対処し、被害を回避・軽減していくこと
- ・変化する環境の中で(変化を活かして)安全に生活するために対策をすること

出典：気候変動適応情報プラットフォームA-PLAT

近畿の各地域で作成しているパンフレットでは、下記のように「適応」を説明しています。

適応・適応策の説明	掲載資料	作成主体
温暖化の影響に対して自然や人間社会のあり方を調整すること	プラス＋適応	近畿地方環境事務所
温暖化による影響に備えた対策をあらかじめ行い、自然や人間社会のあり方を調整すること	知っていますか？温暖化の影響「ちきゅう温暖化適応策」	滋賀県
気候変動による自然環境や人間社会への影響に対して、あらかじめそなえる対策	地球温暖化適応策ラボ【子ども向け】	滋賀県
気候変動への備え	気候変動に適応した魅力的な京都をつくる！～京都府の気候変動適応施策～	京都府
まず「緩和」を進めた上でそれでも現在、または将来の発生が予想される気候変動の影響に備え、その被害を回避し、又は和らげ、もしくは有益な機会として生かしていくこと	おおさか気候変動「適応」ハンドブック	大阪府
「緩和策」に最大限取り組みながらも、避けることができない影響に対してあらかじめ備えておこうというもの	温暖化からひょうごを守る適応策(2017年作成)	兵庫県

■緩和と適応の説明イメージ図①



出典：気候変動適応情報プラットフォーム A-PLAT

■緩和と適応の説明イメージ図②



出典：環境省資料

2. 伝え方の工夫

適応を啓発していくうえで、「緩和」「適応」という言葉自体が、“難しい”“イメージしにくい”という声も聞かれます。気候変動への影響や適応について知ってもらうこと、理解してもらう事は大事ですが、知識として様々な情報を伝えるだけでは伝わりにくいこともあります。

そのため、気候変動による具体的な影響(P10参照)や適応策(P14参照)を示しつつ、人々が具体的な内容をイメージできるようにわかりやすく伝える必要があります。

また、自分の身の周りや地域で起こっていることに気づいてもらい、気候変動による影響とその適応を自分ごととして捉え、行動に移してもらうことが最も重要です。そのためには、伝える相手・場面によって伝え方を工夫することが大切です。

伝え方のポイント

① 自分ごととして実感できるように身近な問題として伝える

参考ページ⇒ P10「身近に起こっている影響に気づいてもらう」など
P18 体験型ツール「SHIFT+適応カード」

② ちょっとした心がけや準備でできることを伝える

参考ページ⇒ P18 体験型ツール「SHIFT+適応カード」
など

③ 得する情報を伝える

参考ページ⇒ P18 体験型ツール「SHIFT+適応カード」

④ 体験を通して楽しみながら知ってもらう

参考ページ⇒ P19 プログラム「SHIFT+適応カード」
など

⑤ 必要に応じてテーマを絞る（欲張りすぎない）

参考ページ⇒ P23 プログラム「ミッションポシブル～気候変動への適応体験
“備える適応”普段の生活から考えてみよう～」など

Ⅲ

気候変動による影響に気づく

～身近に起こっている影響～

1. 生活シーンでの影響

気候変動による影響は既に起こりつつあり、今後さらに加速していくことが予測されています。それは世界や日本全体の大きな話でもあります、実は身の周りや地域の問題にも結びついていくことに気づいてもらうことが大切です。

ここでは、気候変動による影響事例について、人々に身近な問題として、自分ごととして捉えてもらうことを目的として、人々の生活シーンに落とし込んで紹介します。

●生活シーン における影響事例の例

(昔と比べて変わったこと、最近気になること、よくニュースなどで見聞きすることなど)

日常生活で	身体	・熱中症になったことがある、なりかけたことがある(自分・身近な人) ・熱中症に関するニュースをよく聞くようになった ・寝苦しい夜が増えている ・春・秋の過ごしやすい季節が短くなった ・猛暑のため夏に外出する機会が少なくなった
	食	・畑の野菜が育てにくくなったり、品質が悪くなったりしている ・夏の畑の野菜が秋以降も収穫できるようになった ・野菜や果物の不作などで価格の上下が激しくなった
	経済	・夏のエアコン使用により電気代が上がった
	家	・庭の花がきれいに咲かなくなった
学校やビジネスで	学校	・夏の猛暑で学校での勉強や運動・部活動に支障が出ている ・大雨や台風などで、学校が休校になることがある ・雨などで学校行事などが延期になることがある
	ビジネス	・大雨や台風などで、電車が遅れたり運休することが多い ・夏の猛暑で屋外での作業が難しいことがある
地域おでかけ先で	地域	・洪水や浸水、土砂崩れなどの危険を感じるようになった ・集中豪雨で道路の冠水がよく起こる ・雪の降る日や積もる量が減っている
	自然・いきもの	・以前とは違う動物や昆虫などを見るようになった ・街中でスズメを見なくなった ・デング熱などの感染症に危険を感じるようになった
	おでかけ	・紅葉の時期が遅くなった ・紅葉の色づきが悪くなった ・サクラの開花時期が早くなった ・雪不足でスキーにあまり行けなくなった

2. 地域ならではの影響

気候変動による影響は、それぞれの地域の土地、生活や産業、文化に基づいた、地域ならではの影響事例もあります。

これまで近畿で実施したワークショップで出された地域ならではの事例としては、以下のような影響が出されています。

- 黒豆の生育不良、殻へのカビ発生(京都府丹波市、篠山市)
- 近江米の生育不良(滋賀県近江地方)
- 寒天の生産が困難になった(大阪府高槻市ほか)
- 吊るし柿づくりへの被害(滋賀県大津市)
- サワラの増加(京都府伊根町)
- びわ湖の藻の異常繁殖(滋賀県琵琶湖近辺)
- ユリカモメの飛来数減少(滋賀県大津市)
- 奈良公園のシカの活動期間の拡大(奈良県奈良市)
- 大都市のヒートアイランド加速(大阪府大阪市)

その他にも、様々な分野において、様々な影響事例があります。

滋賀県気候変動適応センターでは、身の回りで生じている「温暖化の影響」事例を探すため、「身近な環境の変化」に関する情報や写真を募集しています。



出典：滋賀県気候変動適応センター

IV

気候変動に備える

～今やろう、影響への備え～

1. 個人でできる適応の例

気候変動への適応としては、個人でできること、学校や職場でできること、地域でできること、国や自治体で進めることなど、様々なものがあります。

ここでは、個人でできること、学校や職場でできることについて事例を紹介します。

日常生活で	身体	- 水筒や帽子を持ち歩くようにする - 天気予報に注意し、真夏日には外出を控えている - 朝や夕方の涼しい時に行動し、昼間は休憩する - 寒さ・暑さに強い体をつくる - 空調を活用して、熱中症にならないようにする - 虫除けスプレーを使ったり、予防接種を行なう
	食	- 市民農園や家庭菜園で自家用野菜を作る - 気候に合った作物や品種を栽培する - 旬の食材を食べて代替することも考える - 種まきや植付けの時期をずらしてみる
	経済	地域のクールスポット(図書館や公民館、ショッピングセンター等)に行く
	くらし	- 住宅で快適に過ごせる工夫をする(緑を増やす、風通しを良くする、断熱など) - 家などの被害を自分で応急措置できるようにする
地域での備え		- 地域での防災訓練に参加する - 防災グッズを準備し、家族で避難所を確認する - 地域の祭りやイベントの時期をずらす - 地域の人たちといざというときの対応方法を話し合う - 被害の出やすい場所を確認して、あらかじめ対応しておく
情報収集		- 地域の地理や災害の歴史について調べる - あらかじめ情報を調べて、早めに行動するようにする

2. 学校や職場でできる適応の例

学校 職場 での 備え	学校	- 教室にエアコンを設置する - 学校の行事(運動会など)の時期を変える - 衣替えの時期を変える - 置き傘を用意しておく - 日差し対策のためグリーンカーテンに取り組む。 - 運動時は定期的に休憩と水分をとり、熱中症に気をつける
	職場	- クールビズ・ウォームビズで服装を調整する - 始業時間を早くする・遅くする - データのクラウド化を進めて、大雨や台風の際は自宅で仕事できるようにする

その他にも、様々な分野において、様々な適応策があります。

V

適応策の実践に向けて
地域でやってみよう

ここでは、地域で適応を普及啓発する際に活用できるプログラムや各種ツールを紹介します。

普及啓発においては様々な場面、対象が想定され、それらに対応したツールが必要となります。また、普及啓発の方法としても、体験型、学び型、それらを融合したワーク型など様々なタイプが想定されます。学び型であっても、プログラムの一部に体験型の手法を取り入れることは、より効果的に普及啓発していくためには大切なことです。

また実際には、ここで掲載しているツールをもとに、地域ごとにカスタマイズし、地域性や独自性を活かした取組に活用していくことが求められます。

＜気候変動影響への適応の推進において想定される普及啓発の場面・ツール等について＞

	普及啓発 の場面	対象	テーマ	アプローチ 可能な時間	活用ツール例
1	地域イベント (フェア、祭りなど)	一般	地域振興 環境	5～10 分程度ブ ース出展	プログラム 体験ツール パネル・ポスター リーフレット
2	出前講座	自治会 地域団体	地球温暖化・ 気候変動 ※但し、学年によ っては地域学習 なども考えられる	45～120 分程 度	プログラム 説明用パワーポイント 体験ツール リーフレット (ワークシート)
		小学校等		45 分(授業)	
3	研修・勉強会 セミナー、ワーク ショップ等	自治体職員	気 候 変 動 ・ 適 応	半日～ 1 日程度	プログラム 説明用パワーポイント 体験ツール
		事業者 推進員 一般	まちづくり(防 災、地域の産 業、健康等)	全体で半日程 度のうち 60 分 程度	
4	地域の環境学 習施設等にお ける展示	一般	気 候 変 動 ・ 適 応策	5 分程度	パネル・ポスター リーフレット

・ここで紹介するツールに関する一切の権利は、環境省に帰属します。

・いずれのツールも、留意事項に沿って使用される場合に事前の使用許諾は不要ですが、製作物などについて、後日近畿地方環境事務所までお知らせいただくと幸いです。
今後の参考にさせていただきます。

1. ロゴマーク

このロゴマークは、気候変動への適応を広く市民の方々に伝えていくために、様々な場面で活用することを想定して作成したものです。

市民の方、事業所、団体、自治体等で、自由に無償でお使いできます。

使用に際して申請手続きなどは不要ですが、ロゴのイメージを正しく伝えるために、下記の内容に沿ってお使いください。

■マークについて

これまでの緩和策の取り組みに加えて、普段の行動を適応に変えていくことも必要だというメッセージを表現しています。

■基本形

・有彩色の場合



・無彩色の場合



本ロゴマークは、地域適応コンソーシアム近畿地域事業の普及啓発活動の一環として、アドバイザーである京都市立芸術大学ビジュアルデザイン研究室の舟越一郎准教授に監修していただきました。

■展開例

「SHIFT+適応」という全体的な考え方のもと、個別分野などにおいてはアクションロゴとして展開するなど、様々な場面で活用することができます。



■使用カラー

・有彩色の場合



C100,M30,Y0,BK0
R0, G119, B198



C0,M100,Y100,BK0
R226, G37, B58



C0,M50,Y100,BK0
R240, G132, B56



C0,M0,Y0,BK30
R192, G189, B186

・無彩色の場合



BK100



BK30

※ カラー印刷の場合は、必ずこのカラーを使用してください。

2色刷の場合もできるだけこのカラーを使用してください。

墨刷りの場合は、墨色の濃淡(%)で表現してください。

■背景との関係

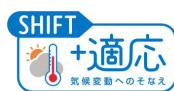
・できるだけはっきりとロゴマークが認識できるカラーを選択してください。

・ロゴマーク内の背景色は、必ず白にしてください。

■最小サイズ

・ロゴマークを小さいサイズで使用する場合つぶれなどが生じ、イメージを損なうことがあります。

・このため表現上の限界から最小使用サイズを設けています。これ以下のサイズでは使用しないでください。



24mm



24mm

■使用にあたっての留意点

- ・使用者が改変して使用することはできません。
- ・ロゴマークの縦横比の変更などの変形や省略はしないでください。
- ・ロゴマークを袋文字(文字に輪郭をつけ、色を配すること)にしたり、他の図形や文字と重ねて使用したりしないでください。
- ・ロゴマークの図形のすぐ近くに別の図形を置かないでください。
- ・この手引きで示した規定色を使用してください。
- ・原則としてデータから使用してください。
- ・マークの使用が次のいずれかに該当する場合は、使用を認めないものとします。
 - (1) 自己の商品名、サービス名その他商品・サービスの商標として使用する場合
 - (2) マークに関する取組の信用又は品位を害するものと認められる場合
 - (3) 法令及び公序良俗に反するものと認められる場合
 - (4) 特定の政治、思想、宗教、募金の活動に関するものと認められる場合
 - (5) その他、使用が不適当と認められる場合

2. 体験型ツール「SHIFT＋適応カード」

(1) SHIFT＋適応カードとは？

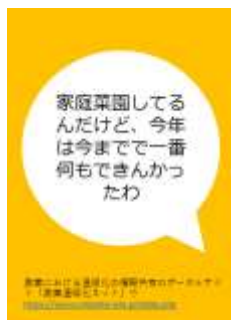
- ① 楽しみながら影響への「気づき」と具体的な行動(適応策)の共有と自らの行動につなげることをめざす

気候変動による影響に対する「つぶやき」と、具体的な生活場面に落とした適応策「アクション」からなるカードです。

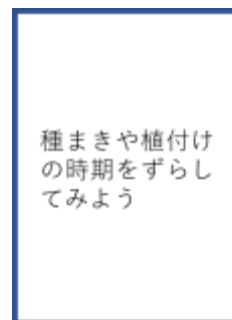
参加者同士でカードづくりをしたり、できたカードをもとに様々なゲームを行うなど、楽しみながらいろいろな使い方ができるものです。

普段の生活における「つぶやき」を通した気候変動による影響への気づき、それを解決するための適応策(アイデア)の創出や参加者間での共有を通して、気候変動への適応を自分ごととして捉え、自らの行動につなげてもらうことをめざしています。

つぶやきカード



アクションカード



本カードは、各地域で参加対象者や活用場面などに応じて、カスタマイズしながらオリジナル版を作成することを想定していますが、サンプルだけでも活用できるような作りとなっています。

(使い方・遊び方は、次ページ以降に記載)

カードサンプルのデータを提供しています。近畿地方環境事務所までお問合せください。

(2)使い方・遊び方の例

① カードづくりプログラム

1. +SHIFT適応カードづくり

カードづくりプログラム②
(グループワークバージョン)

(60分~90分)

- 人数 何人でも
- 対象 高齢者をはじめ、老若男女（子どもには少し難しい）
- 適している活用場面 出前講座、研修/勉強会/セミナー/ワークショップ
- 遊び方

1. 6人程度（参加者人数に応じて変更。多くても8人程度）の班を作る。
2. 気候変動による影響に対するつづやきを考えてもらい、白紙の「つづやきカード」に記入する。（アーカイブから一覧を例示として班に配る）
3. 作成するカードのカテゴリは、対象者などにより複数を選んでおく。
4. 記入したカードをもとに、順番に気持ちを込めてぼやいてもらい、班内で共有する。
5. 各人でつづやきに対するアクションを考える。その後、班全体で共有しながら、アクションカード作りを行う。
6. 完成したつづやきカード、アクションカードを模造紙に貼り、各班ごとに発表する。カードを貼る際は、分野毎に分ける。

●ポイント

- ・ 班は、出来る限り年代の層がバラけるように編成する。
- ・ つづやきについては、カテゴリごとのほか、家庭（日常生活）、職場・学校（通勤、通学）、レジャー（アウトドア、イベント）の場面ごとに少なくとも1つ出してもらうなど、考えやすい工夫をする。
- ・ 地域のシンボルを落とした地図を置くなど、「この山で〇〇が取れなくなった」「昔は川遊び出来たが、干上がって遊べない」等話せると議論が進む。
- ・ その日の「ベストつづやき俳優賞」「ベストアクションアワード」を決めて表彰してもよい。

2. パネル等によるカードづくりと共有化

カードづくりプログラム②
(イベントバージョン)

(5分程度)

- 人数 何人でも
- 対象 高齢者をはじめ、老若男女
- 適している活用場面 地域イベント
- 遊び方

1. イベントのブースのパネルや模造紙などに、あらかじめ作った（サンプルでも可）「つづやきカード」とそれに対応する「アクションカード」を関係性がわかるように貼っておく。
貼るためのベースは、1日の行動（起床～寝るまで、平日・休日）、生活場面などを記載しておくこと、貼りやすい。（人生ゲームのようなイメージ）
2. 白紙の「つづやきカード」と「アクションカード」を用意しておき、来場者にその場で記入・貼ってもらう。
3. パネルでつづやきとアクションを増えていくのを、来場者とともに楽しむ。

●ポイント

- ・ 同時に、来場者に「ベストアクション」にシールを貼って投票してもらうなどしてもよい。

② カードを使ったゲーム （活用場面の想定: イベントや出前講座など）

1. カードを使ったジェスチャーゲーム

ゲームプログラム
(入門バージョン)

●人数 3～5人 (10分)

●対象 高齢者をはじめ、老若男女

●適している活用場面 イベント会場/出前講座など

●遊び方

1. イベントのブースのパネルや模造紙などに、あらかじめ作った（サンプルでも可）「つぶやきカード」と「アクションカード」を関係性がわかるように貼っておく。
2. 「つぶやきカード」をシャッフルし、参加グループの代表者に1枚引いてもらう。
3. カードを引いた参加者は「つぶやきカード」に書かれている、つぶやきの内容をジェスチャー（30秒）でグループのメンバーに伝える（この時、参加者は会場に掲示してあるつぶやきカードのサンプルを見ることも可）
4. 3分間で何枚の「つぶやきカード」をジェスチャーゲームで伝えられるか競う（結果パネルを用意しておき、クリア枚数とグループ名を記入）

（余裕があれば）

1. 「アクションカード」を用意しておき、クリアした「つぶやきカード」に対する「アクション」を選んだり、空白カードに記入してもらい、セットで貼ってもらう。
2. パネルにゲームの成績とともにアクションを増えていくのを、来場者とともに楽しむ。

●ポイント

- ・ 入門編として、楽しみながら「適応」という言葉を知ってもらうことを目的とする。
- ・ 参加者が「アクションカード」に記入するアイディアについての真偽は問わないことを基本とする。

2. 適応かるた

ゲームプログラム
(入門バージョン)

●人数 3～10人 (10～30分)

●対象 高齢者をはじめ、老若男女

●適している活用場面 イベント会場/出前講座など

●遊び方

1. あらかじめ作った（サンプルでも可）「つぶやきカード」と「アクションカード」を用意し、「アクションカード」を文字記載面を上にして、場一面に広げる。
2. かるたの遊び方と同様に、「つぶやきカード」を読み手が読み、それにあった「アクションカード」を場から見つけて取る。
3. カードを取った人は、「アクションカード」を発表し、みんなであっているかどうか確認する。
4. 2～3を繰り返す。
5. 「アクションカード」をたくさんもらえた人の勝ち。

●ポイント

- ・ 対で想定していた「つぶやきカード」と「アクションカード」とは異なる場合であっても、参加者が賛同する適応はOKとする。
- ・ 子どもや高齢者でも、簡単なルールで楽しみながら遊べるゲーム。

3. カードゲーム①/つぶやき×適応マッチング

ゲームプログラム
(初級バージョン)

●人数 3～8人 (60分～90分)

●対象 子ども・高齢者

●適している活用場面 出前講座、研修/勉強会/セミナー/ワークショップ

●遊び方

1. 「つぶやきカード」と「アクションカード」をあわせてシャッフルし、順に全て配る。
2. 「つぶやきカード」と「アクションカード」のうち対応すると思うカードを場に捨てる。
3. 全員で捨てられた「つぶやきカード」と「アクションカード」が合っているかどうか確認する。
4. 親から順に、隣の人の手札から1枚引く。
5. 手札から、対応すると思う「つぶやきカード」と「アクションカード」を1組、場に捨てる。
6. 全員で「つぶやきカード」と「アクションカード」が合っているかどうか確認する。
7. 4～6を繰り返す。
8. 一番早く「つぶやきカード」をなくした人の勝ち。抜ける人の残った「アクションカード」は左隣の人から順に1枚ずつ配る。最後の一人までやってもOK。

●ポイント

- ・つぶやきに対して2つ以上のアクションがある場合は、「アクションカード」の方が多くなるが、「つぶやきカード」を減らしていくためにうまく活用する。
- ・「つぶやきカード」と「アクションカード」が合っているかどうかは、半数以上の賛同が得られればOKとする。スタッフに余裕がある場合は、各グループに審判を配置してジャッジするのもよい。

4. カードゲーム②/+SHIFT適応でつぶやきゲット

ゲームプログラム
(中級バージョン)

●人数 3～8人 (60分～90分)

●対象 高齢者をはじめ、老若男女

●適している活用場面 出前講座、研修/勉強会/セミナー/ワークショップ

●遊び方

1. シャッフルした「アクションカード」を4枚ずつ配り、配られたカードは手札として並べる。残った「アクションカード」は山札とする。
2. 「つぶやきカード」を全て重ねて、裏面を上にして場に置く。
3. 一人が（親から順に）、場にある「つぶやきカード」を1枚引いて、表を上に向けて場に置く。
4. 全員：手札から、つぶやきに対して有効だと思う「アクションカード」を出す。（早く出した人から順に並べる）
5. 全員で「アクションカード」が合っているかどうか確認する。合っているカードのうち、一番早く出した人がその「つぶやきカード」をもらう。対応する「アクションカード」がない場合は、全員山札から1枚とる。
6. 3～5を繰り返す。
7. 「つぶやきカード」をたくさんもらえた人の勝ち。（5色揃えるなどのミッションも可）

●ポイント

- ・空白の「アイディアカード」を何枚か用意しておき、その場で適応策を考えて「アクションカード」の代わりにできるようにしても面白い。
- ・「アクションカード」が合っているかどうかは、半数以上の賛同が得られればOK。スタッフに余裕がある場合は、各グループに審判を配置してジャッジするのもよい。

一番の人がもらえる



つぶやきカードの一例



アクションカードの一例



「SHIFT+適応カード」のネタサンプル

N o	カテゴリ	つぶやき	アクション 【手間・知恵】	アクション 【モノ・お金】	アクション 【学び】	豆知識
1	適応 EAT	最近、あんま聞いたことない名前のお米が売ってるけど、どうなんやろ		いろいろな種類を買って食べてみよう	どんな品種があるのか調べてみよう	温暖化にあわせた品種について
2	適応 EAT	今年の夏は野菜が高くてかなんわ。ビタミン不足になってしもた	家庭菜園で野菜を育ててみよう	他の食材で代替してみよう①		家庭菜園で作りやすい野菜について
3	適応 EAT	イカナゴがめっちゃ高くて、釘煮がちょびつとしか炊けへんかったわ		他の食材で代替してみよう②	今あるものを大切に味わおう	イカナゴについて
4	適応 EAT	今年の干し柿はうまく作れへんかったわ		他の食材で代替してみよう③	最適な気象条件のタイミングを調べてみよう	干し柿の作り方のポイント
5	適応 EAT	家庭菜園してるんやけど、今年は、もひとつやわ	種まきや植付けの時期をずらしてみよう①	気候にあった種類に変えてみよう①		家庭菜園の暑さ負け対策について
6	適応 EAT	今年の夏はえらい暑くて、食欲ないし、バテ気味やわ	料理を冷やしたり、さっぱりした味にするなどの工夫をしよう	地元で採れる旬の食材を食べて、食物からエネルギーをもらおう		夏バテ防止の食事について
7	適応 EAT	こう暑いと夏のビール代、高こつくわ		たまには他の飲み物で代替してみよう	健康面も考慮して、家族の間で飲む頻度や量を決めてみよう	ー
8	適応 HOME	夏は暑すぎて、農作業が出来へん	朝や夕方、夜など涼しい時間帯に出かけよう①	涼しい服装を取り入れてみよう①		空調服など工夫された作業服について
1	適応 HOME	熱帯夜でクーラーないと寝られへんわ	冷房に頼りすぎない暑さ対策もしよう①	空調を活用して、熱中症にならないようにしよう		室内での熱中症の危険について
2	適応 HOME	もう毎日、びっくりするぐらい暑くて、冷房費がえらいことになってるわ		省エネ家電に買い替えよう	クールスポットを調べて利用してみよう①	コワーキングスペースやクールスポットについて
3	適応 HOME	夏、外に出るには暑すぎやから、家に引きこもり気味やわ	朝や夕方、夜など涼しい時間帯に出かけよう②		クールスポットを調べて利用してみよう②	沖縄の人たちの生活の工夫について
4	適応 HOME	突然の停電で、真っ暗で寒くてどうしようもなかったわあ	体を動かしたり、身の回りにあるもので対応しよう		いざという時のための対応を家族で話し合っておこう	停電時の非常事態における工夫について
5	適応 HOME	最近の台風、風が強すぎて、日曜大工で作った小屋が飛ばされそう！	いざという時のための応急措置を想定しておこう		被害の出やすい場所を確認して、あらかじめ対応することで被害を最小限にしよう①	台風予測情報について
6	適応 HOME	台風で駐輪場の屋根が壊れたけど修理代がえらいかったわあ	自分でメンテナンスをできるようにしよう		加入している保険の特約に自然災害の被害があるか確認してみよう	屋根のシート張りについて
7	適応 HOME	雨がなかなか降らへんから、庭の植木が茶色くなって枯れてしもた		気候にあった種類に変えてみよう②	事前に気象情報などをチェックして備えよう①	多肉植物など乾燥に強い植物について
8	適応 HOME	庭の花が酷暑できれいに咲かなかったわ	種まきや植付けの時期をずらしてみよう②	気候にあった種類に変えてみよう③		暑さに強い花について
1	適応 LIFE	地域のイベントが台風や大雨のせいで延期や中止ばかりや	関係者と一緒に、開催時期を見直してみよう①		自治会など地域で準備方法について対応策を検討しよう	ー
2	適応 LIFE	最近、台風の被害が大きすぎると思わへん？			被害の出やすい場所を確認して、あらかじめ対応することで被害を最小限にしよう②	自然災害保険について
3	適応 LIFE	今年は、台風の被害が多くて、地域の清掃活動が大変やったわ	家族で地域活動に参加など、地域とのつながりを作ろう①		被害の出やすい場所を確認して、あらかじめ対応することで被害を最小限にしよう③	ー
4	適応 LIFE	せっかくの夏休みなのに、熱中症が心配で、	朝や夕方、夜など涼しい時間帯に出かけ		クールスポットを調べて利用してみよう③	暑い日に家族でテーマパークを楽

N o	カテゴリ	つばやき	アクション 【手間・知恵】	アクション 【モノ・お金】	アクション 【学び】	豆知識
		家族のお出かけがしづ らいわ	よう③			しむ方法 http://www.hitosuzumi.jp/stylebook/299/
5	適応 LIFE	夏以外でも蚊に刺され るようになった気がするわ		虫よけスプレーを使 おう	家の周りに水たまりがな いか確認しよう	蚊の生態について
6	適応 LIFE	今年の紅葉は、もひと つやったなあ			紅葉の見ごろ予想を調べ てみよう 毎年の変化などをモニタ リングしてみよう	生物季節観測 https://www.data.jma.go.jp/sakura/data/index.html
7	適応 LIFE	雪が少なすぎてスキー 場大変らしいわ。これ からどうしはるんや ろ？	スキー以外の魅力も 発信して、集客数を 上げよう		事前に気象情報などをチ ェックして備えよう②	季節予報について
8	適応 LIFE	なんか最近、季節感が なくなってきてへん？ さみしいわあ	季節の行事や旬の食 べ物を積極的に楽し んでみよう		気候変動について学んで、 その原因を調べてみよう	季節・旬について
	適応 LIFE	暑すぎて、観光客が減 っちゃいそうやわ	朝や夕方、夜など涼 しい時間帯に出かけ よう④	夜の時間帯に見れる 観光名所を作ろう (ライトアップ等)		季節予報について
	適応 LIFE	なんだかドカ雪が増え た気がするなあ	家族で地域活動に参 加など、地域とのつ ながりを作ろう②		事前に気象情報などをチ ェックして備えよう③	近年の降雪状況と 予報について
1	適応 WORK 適応 STUDY	教室（オフィス）の窓 際、暑っ!!	グリーンカーテンに 取り組んでみよう		教室（オフィス）のレイ アウトを変えよう	グリーンカーテン による効果につ いて
2	適応 WORK 適応 STUDY	このあいだ作業（部活） 中に熱中症になりかけ て怖かったわ	必ず定期的に休憩と 水分をとり、熱中症 に気をつけよう		熱中症に備えて、いざとい う時の対策を学んでおこ う	熱中症時の対応に ついて
3	適応 WORK 適応 STUDY	台風の影響で、いつ電 車動くか分からへんか ら、仕事（学校）に行 けへん	データのクラウド化 を進めて、在宅勤務 が出来るようにしよ う		事前に気象情報などをチ ェックして備えよう④	在宅勤務制度につ いて
4	適応 WORK 適応 STUDY	夏が暑すぎて、仕事（学 校）に行く気が起きへ んわ！	早めに起きて涼しい うちに出勤（出校） しよう	涼しい服装を取り入 れてみよう②		1 日の気温変動に ついて
5	適応 WORK	通勤列車が蒸し暑くて たまらんわあ	保冷剤をハンカチに 包んで、首元、脇を 冷やそう	涼しい服装を取り入 れてみよう③		個人でできる服装 などの暑さ工夫に ついて
6	適応 WORK	大雨で電車が止まりそ うだから、会社に行き たくないな		きれいな色の傘や長 靴を使って気分をア ゲよう	事前に気象情報などをチ ェックして備えよう⑥	計画運休について
7	適応 STUDY	水温が高くなりすぎ て、学校のプールに入 れない日があったわ	関係者と一緒に、開 催時期を見直してみ よう②			プールの水温と実 施判断について
8	適応 STUDY	最近、急に大雨が降る ことが多くて、傘をな くて困るわ	普段から置き傘を用 意しよう		事前に気象情報などをチ ェックして備えよう⑦	気象庁による予測 情報について
	適応 WORK 適応 STUDY	大雨や台風のせいで公 共交通の遅延や連休が 多くて焦るわ	余裕を持ったスケジ ュールで動こう		事前に気象情報などをチ ェックして備えよう⑤	気象庁の異常天候 早期警戒について
	適応 WORK	冷房が効いているところ と、そうでないところ の差が大きくて疲れ るなあ	冷房に頼りすぎない 暑さ対策もしよう②		胃腸を労わる食生活を意 識しよう	冷房の使い方につ いて
	適応 STUDY	入学式の時にもう桜が 咲いていなくてさみし かったわ	他にもきれいに咲い ている花を楽しもう		桜の開花予想を調べてみ よう	桜の開花予想

3. 地域での普及啓発プログラム例

1	
ミッションポシブル～気候変動への適応体験“備える適応”普段の生活から考えてみよう	
場 面	地域イベント（複数のブース出展がある場合）
ね ら い	地域で開催されるイベントで、適応策に関連する他のブースと連携し、適応に関するミッションに取り組んでもらうことで、家族や友だちと楽しみながら体験型で気候変動の影響とその適応の知識を身に着けることができる。
対 象	子ども、一般
人 数	進行役1人につき、1～5 人程度（出来れば家族や友人単位が望ましい）
所要時間	10 分程度～
進行役	ナビゲーター1人
流 れ	【自然災害】【健康】【くらし・食】【自然・生きもの】など様々な適応の視点から、会場内のブースを回って見たり体験したりすることで可能となる「ミッション」を与え、自らのブースでも体験型の「ミッション」を実施する。ミッションをクリアしたら、ツールにスタンプを押す。 複数のミッションのうち、一定以上をクリアしたら、先着で景品をプレゼントするなどのアレンジも考えられる。 各ミッションの内容・プログラムは、31 ページ以降に掲載。
準備物	・テント 1 張 ・机・椅子 ・配布ツール（会場 MAP、ミッションコンプリートカードと兼ねる） ・簡易鉛筆 100 本 ・筆記用具 ・スタッフ名札 ・景品（必要に応じて） ・パネル（適応紹介 3 枚+案内 1 枚+参加者メッセージ 1 枚） ・イーゼル

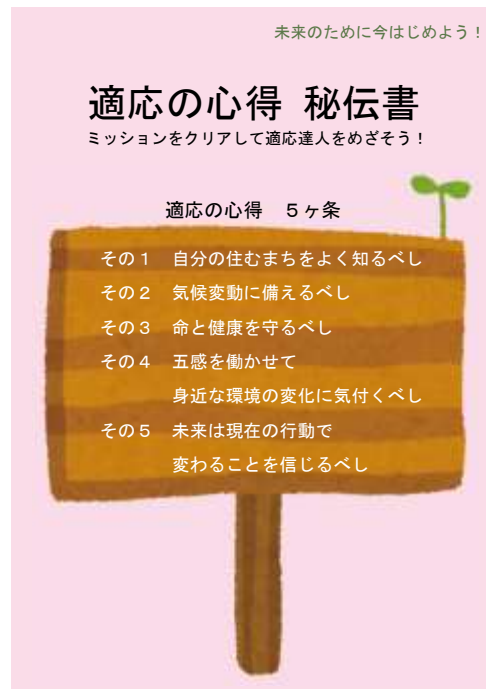
※上記プログラムについては、大阪市環境局が開催した「ECO 縁日 2018」（平成 30 年 11 月 3 日、花博記念公園鶴見緑地）において、近畿地域の地球温暖化防止活動推進センターの協力のもと、ブース出展して試行的に展開しています。



ブース出展の様子



イベント案内のパネル



リーフレットの一部: 適応の心得5ヶ条

注: (株)地域計画建築研究所(アルパック)作成



ミッションをクリアしたら、ここに



会場マップを掲載し、関連ブースを案

(注) (株) 地域計画建築研究所 (アルバック) 作成

試行したツールの一部(リーフレット)

○ミッション1

タイトル	“備える適応”普段の生活から考えてみよう【自然災害編】		
キーワード	災害時の対応		
プログラム	【導入編】 集まった参加者で「最近の気象や自然災害」で実感した・受けた影響を共有する ・はじめに、会場展示のパネルを見てもらい、気候変動による影響は実際どのようなものかを知ってもらう。 ・次に、ツール「適応の心得」等を活用し、参加者で最近の気象や災害で実感した・受けた影響と行動を話してもらう。		説明、パネルへ誘導 可能ならツールに書きこみ
	【入門編】 災害時の対応やトラブルを解決する練習をする <u>豪雨が来たらあなたのまちはどうなる？ハザードマップを確認するべし！</u> ・自分の住むまちのハザードマップを見たことがあるか？確認する。 →YESの場合、ツール「適応の心得」等を活用し確認。 →NOの場合、自前ブース設置の地域のハザードマップで確認。 参加者が地域外の場合は、スマホ等を活用して確認を声掛け。		住んでいる場所にシールを貼付
	【応用編】 もっと深めたい人向け ※①か②のいずれかを選択		
	<u>①停電になったらどうする？ いざというときの部屋を明るくする方法を考えるべし！</u> ・材料を使って、どうしたら明るくできるか考える	<u>②非常時に寒くなってきたらどうする？ いざというときに体を暖かくする方法を考えるべし！</u> ・新聞紙で暖をとる（上着を作る、靴下と重ねて履く、腹	自由に体験してもらう
準備物	入門編：ハザードマップ 応用編①：懐中電灯、白いポリ袋、ペットボトル、水、はさみ、輪ゴム 応用編②：新聞紙、ラップ、セロテープ、ガムテープ、靴下		

○ミッション2

タイトル	“備える適応”普段の生活から考えてみよう【健康編】	
キーワード	暑熱対策、熱中症、非常時の寒さ対策	
プログラム	【導入編】 集まった参加者で「健康面」で実感した・受けた影響を共有する ・はじめに、会場展示のパネルを見てもらい、気候変動による影響は実際どのようなものかを知ってもらう。 ・次に、ツール「適応の心得」等を活用し、参加者で最近の気象や健康面で実感した・受けた影響と行動を話してもらう。	説明、パネルへ誘導 可能ならツールに書きこみ
	【入門編】 猛暑への対応や突然のトラブルを解決する練習をする <u>大阪の夏はもっと暑くなる？まちなかの涼しい場所を知るべし！</u> ・自分の住むまちのクールスポットを知っているか？確認する。 →YES の場合、ツール「適応の心得」等を活用し、確認。 →NO の場合、会場の関連ブース(クールスポットの紹介等)へ行って確認してもらう。会場内に関連ブースが無い場合はツール「適応の心得」ミッション3左)生活(健康)のこと、ツールミッション2を活用し確認。	聞いた場所を付箋紙に書き出し
	【応用編】 体温を調節する ・首の後ろや脇の下、尾てい骨の上の温度を調整することで体温の調節ができることを知る。寒気対策や熱中症予防などに活用。	自由に体験してもらう
準備物	応用編:保冷剤、使い捨てカイロ、タオル、ハンカチ	

○ミッション3

タイトル	“備える適応”普段の生活から考えてみよう【くらし・食編】		
キーワード	快適、節約		
プログラム	【導入編】 集まった参加者で「生活面」で実感した・受けた影響を共有する ・はじめに、会場展示のパネルを見てもらい、気候変動による影響は実際どのようなものかを知ってもらう。 ・次に、ツール「適応の心得」等を活用し、参加者で最近の生活面で実感した・受けた影響と行動を話してもらう		説明、パネルへ誘導 可能ならツールに書きこみ
	【入門編】 お得でエコなくらし方を知る		
	①温暖化で電気代がかさんじゃう？お得で快適なくらし方を学べし！ ・お得で快適なくらし方を実践しているか？確認する。 →YES の場合、(ツール「適応の心得」ミッション1)を登録・確認。 →NO の場合、会場の省エネ・再エネ・創エネ関連ブースに行って確認。	②未来の食卓はどうなっている？地元の旬の食材を食べるべし！ ・気候や土地にあった食材はどんなものがあるのか？確認する。 →YES の場合、(ツール「適応の心得」ミッション1)を登録・確認。 →NO の場合、会場の農産物関連ブースに行って確認。	ブースに行ってきたことを報告してもらう
準備物	—		

○ミッション4

タイトル	“備える適応”普段の生活から考えてみよう【自然・生きもの編】	
キーワード	生物多様性、地域の生き物、モニタリング	
プログラム	【導入編】集まった参加者で「自然や生きものの变化」で実感したことを共有する ・はじめに、会場展示のパネルを見てもらい、気候変動による影響は実際どのようなものかを知ってもらう。 ・次に、ツール「適応の心得」等を活用し、参加者で最近の気象の影響で「自然や生きものの变化」で実感したことを話してもらう	説明、パネルへ誘導 可能ならツールに書きこみ
	【入門編】地域にどんな生きものがいるかを知る 30年後も生息しているかな？地域にどんな生きものがいるか知るべし！ ・地域にどんな生きものがいるのかよく知っているか？確認する →YES の場合、(ツール「適応の心得」ミッション1)を登録・確認。 →NO の場合、会場の地域の自然・生き物関連ブースへ行って確認。改めてクイズに答えてもらう	カードから大阪に生息している在来の生きものを1つ選んでもらう。
準備物	入門編：生き物カード	

気候変動の地域での影響事例調べワークショップ(2回編)	
場 面	研修・勉強会、ワークショップ
ね ら い	地域の気候変動影響のモニタリング、影響の原因や対策、適応策の検討など具体的に検討し、次の行動につながる具体策を考える
対 象	地球温暖化について一定の知識を持った人や、地球温暖化の影響を感じている住民 環境保全活動や地域づくりを行う人、団体その他温暖化や地域の将来に関心のある人
人 数	～30 人程度
所 要 時 間	3 時間/回×2 回(全 6 時間程度)+個人ワーク
流 れ	気候変動による地域における影響、及び適応策に関する理解を深める講義と、個人による影響事例調査とそれに基づく具体的な適応策の検討を行う。 個人による影響事例調査は第 1 回目ワークショップ終了後に行い、第 2 回目ワークショップでは調査結果をもとに参加者同士で影響事例と適応策についての理解を深めると共に、具体的に実行できる具体策を考える。調査結果については、収集した影響事例の結果を事務局が集計・整理し、第 2 回目ワークショップの参考資料とする。
プログラム	・第 1 回目:講義・気候変動及び適応について学ぶ。 ・第 1 回目終了後後日、参加者に“気候変動により身の回りで起こっていると思われる影響事例”について影響事例調査シートに記入・提出してもらう。影響事例調査シートの準備・収集、収集した影響事例結果の集計を行い、第 2 回目の資料を作成する。 ・第 2 回目:収集した影響事例調査を集計・整理した調査結果に基づき、温暖化影響に対する適応策について検討するグループワークを行う
参 考	環境省近畿地方環境事務所「地域で気候変動への適応を推進するための手引き」

3	
気候変動の地域での影響事例調べワークショップ(1 回編)	
場 面	研修・勉強会、ワークショップ
ね ら い	気候変動と「適応策」そのものの理解を広める
対 象	一般市民
人 数	～30 人程度
所 要 時 間	全 1 回(3 時間程度)
流 れ	気候変動による地域における影響、及び適応策に関する理解を深める講義と、影響事例と適応策についてのグループワークを行う。
プログラム	・前半：講義・気候変動及び適応について学ぶ。 ・中盤：適応への理解について確認を行う。※グループワークの場で影響事例について考えるため、影響事例調査シートの準備や集計・整理作業は特になし。 ・後半：グループワーク“気候変動により身の回りで起こっていると思われる影響事例”についてその場で考え、その適応策について検討するグループワークを行う。
参 考	環境省近畿地方環境事務所「地域で気候変動への適応を推進するための手引き」

参考資料
適応に関してより理解できる情報

①気候変動による影響と適応の知識

情報の内容	URL・資料	QR コード
気候変動適応情報プラットフォーム	https://adaptation-platform.nies.go.jp/index.html	
CDP 気候変動レポート2017: 日本版(2017 年・CDP)	https://b8f65cb373b1b7b15feb-c70d8ead6ced550b4d987d7c03fcdd1d.ssl.cf3.rackcdn.com/cms/reports/documents/000/002/762/original/Japan-edition-climate-change-report-2017.pdf	
気候変動の影響への適応に向けた将来展望(中間報告)(2018 年 3 月・農林水産省)	http://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/report.html	
気候変動をチャンスととらえ将来事業戦略に活かす(2017 年・三菱総合研究所)	http://www.mri.co.jp/opinion/column/safety_biz/sb_20170913.html	
気候変動「適応ビジネス」(その2)ーTCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)の提言からみた日本企業の気候リスク(2017 年ニッセイ基礎研究所)	http://www.nli-research.co.jp/report/detail/id=55412?site=nli	

②さまざまな気象情報

情報の内容	URL・資料	QR コード
気候変動監視レポート 2017 (2018 年 7 月・気象庁)	https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/monitor/2017/pdf/ccmr2017_all.pdf	
地球温暖化予測情報第 9 巻データセット(2018 年 6 月・気象庁)	http://search.diasjp.net/ja/dataset/JMA_GWP9	
ヒートアイランド監視報告 2017 (2018 年 6 月・気象庁)	https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/himr/h30/index.html	
農業に役立つ気候情報の利用の手引きー農業気象災害を軽減するためにー(近畿地方版)	https://www.jma.go.jp/jma/kishou/nougyou/document/kinki/kinki.pdf	

③地域等における適応策事例の情報

情報の内容	URL・資料	QR コード
適応策の普及啓発(滋賀県)	https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyo-shizen/ondanka/13574.html	
スマートフォンで誰でも手軽に水稻の生育診断(京都府)	http://www.pref.kyoto.jp/nougijyutsu/documents/h27omonaseika2018kousin.pdf	
おおさか防災ねっと(大阪府)	http://www.osaka-bousai.net/pref/index.html	
最適田植え日を提示する「移植日マップ」(兵庫県)	http://hyogo-nourinsuisangc.jp/13-topics/13d-press/25/may_2.html	
住民主体による防災マップ・タイムラインの作成(奈良県)	http://www.kkr.mlit.go.jp/kizujyo/mizubijyon/pdf/20161221_06.pdf	
観光地の日傘レンタル(埼玉県熊谷市)	http://www.city.kumagaya.lg.jp/atsusataisaku/all/taisakupro/enmusubihigasa.html	
熱中症予防のための「まちのクールオアシス」(埼玉県さいたま市)	https://www.pref.saitama.lg.jp/a0704/net-suchusyo/cool-oasis.html	
政府広報オンラインによる Dengue 熱感染の注意喚起(国)	https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201509/1.html#anc05	

④パンフレット等

タイトル	URL・資料	QR コード
目で見える適応策(A3・2 つ折り、 2018 年 9 月・国立環境研究 所)	http://www.adaptation-platform.nies.go.jp/pdf/A3_pamphlet_tekiou.pdf	
気候変動への「適応」(A4・表 裏、2018 年 9 月・環境省)	http://www.adaptation-platform.nies.go.jp/pdf/A4_pamphlet_tekiou.pdf	
コミュニケーター学習用教材 I (2019 年 3 月版)	https://ondankataisaku.env.go.jp/communicator/download	
クールチョイスアプリ	<a href="https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoic
e/app/">https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoic e/app/	
大阪管区气象台防災教育支 援メニュー	<a href="https://www.jma-net.go.jp/osaka/fukyu/f
ukyu_index.html">https://www.jma-net.go.jp/osaka/fukyu/f ukyu_index.html	

適応普及啓発ヒント集

- 発行年月／令和2年3月発行（第1版）
 - 発行／環境省、近畿地方環境事務所
 - アドバイザー／舟越一郎（京都市立芸術大学）、川中大輔（龍谷大学）
 - 協力／近畿地域の地球温暖化防止活動推進センター
（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）
 - 編集／㈱地域計画建築研究所（アルパック）
- ※この冊子は地域適応コンソーシアム近畿地域事業にて作成しました
-